

も終列車にて登山せんと思つてゐる人々だ、けれど終列車が發車後である事を知らないものばかりであつたから福岡君に指導を受けるやう注意してそして、宿をこる事を依頼して呉れ言つて別れやうせしに、同志から君は何所に行くのだと質問された、僕は同志の消息を知る爲に龍神驛に向ふのだと答へた。

此時龍神驛でも正私服の警官が數人もいて警戒が嚴重だに聞く、檢束の用意でもしているものであらう、問古つていてはだめだに注意を受けた事を幸ひとして、それから阪堺線の大小路停留所から乗車した、電車内も中々警戒が嚴重である、種々の事をも考へているうちに電車は大阪惠美須町に着いた。

難波に來た、東洋一を以て誇る南海鐵道の女關口では醜態を演じてゐる、プラットホームには

「運轉系統が亂れて居りますから滝寺方面行の御方はなるべく軌道線を御利用下さる様願います」

それより裏門に出て着てゐた厚司を脱ぎすて正服に着かえて間もなく社員に出合つた時、我々青年部員が残らず誦首された事を知り、同君の御厚意に依て社報を一枚もらつた、そのそゝ出んせしに、正服では活動は至難である、私服を求めて再び難波驛前頭にプラットホームに入つた、難波驛の警戒は頗る嚴重で各列車には正服の警官二名を乗込ませ運轉臺に見張つてゐる、私服警官も乗車してゐる、迎へ活動は至難だ、其日は大阪市内に一泊した。さうも昂奮して寢入れない。

眼を醒ました時は朝の十一時十五分だ、しまつた寢過ぎたわい、これは一大事と御飯もろくくだま喰えないから汐見橋驛に一目散に走り出した。電車は來しゐる住吉東行に乗つた、一乗務員をこらまへて聞いて見る、高野線の乗務員や驛員の動勢は悪い困つた事だなあ、あの覇氣満々たる平井支部長初め幹部の諸君はさうしてゐるのであらうと思ひつゝ、住吉東驛より高野下驛行に乗換たが漸く落付た氣分になつた爲か連日の疲れが出た爲かウツ／＼居眠つてしまつた。

車内が騒がしくなつた、目を覺して見る、高野線支部長平井君を初め、幹部諸君や會員の諸君が多數乗車して居られたので早速平井君に挨拶し高野線の状況を聞けば高野線の全員も爭議参加に協議一決し續々登山しつゝあるこの事なので、汐見橋驛で感じた不安の氣分もさこえか飛んでしまつた、搗て加へて元氣が一倍増した。痛快だ、快かなを叫ばずには居れなかつた、それからそれえ話も轉じた、其の時福岡君が堺著に檢束されたのを聞いて驚いたが仕方がない山上へ行て對策をしようとした、何心なく窓外に瞳みを投ずれば眞夏の大陽は活々として光り輝いてゐる、萬木皆緑だ、田を越ゆ、山を越ゆ、谷を越ゆ、列車は進んで行く自然の變遷をあかすにながめてゐた、パノラマの様だ、列車は高野下驛に着いた、高野登山自動車會社の前についた、茲にも同志數十人集まつて居る、それ等の人々は幹部諸君が引率の下に登つて行く、高野線の幹事某君が足部に負傷されてゐるので乗合自動車で行く事になつたので僕も同乗の榮に浴し樂々登る事が出来る様になつた。

自動車は大型の極上等であつてこんな自動車をを使用中の頃は我國での嚆矢である、それだけに如何程自